

**【NEWS RELEASE】**

2022年6月1日

各 位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ  
 株式会社三井住友銀行

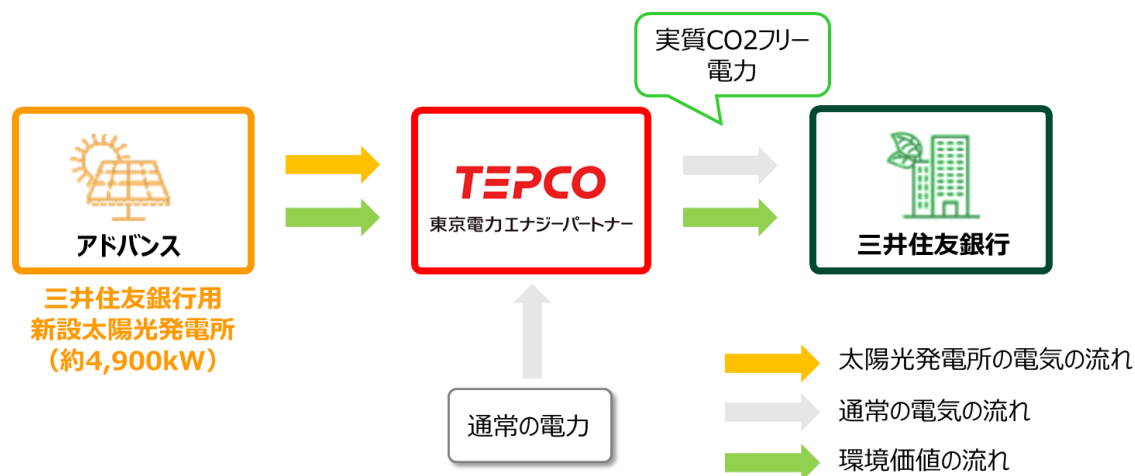
オフサイトコーポレート PPA を活用した再生可能エネルギーの導入について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下、「三井住友銀行」）は、オフサイトコーポレート PPA※1 を活用した再生可能エネルギーを導入いたします。

本取組は、茨城県内 2 箇所に総出力約 4,900kW の太陽光発電所を株式会社アドバンス（代表取締役社長：渋谷 君美義）が新設し、東京電力エナジーパートナー株式会社（代表取締役社長：秋本 展秀）を通じて、三井住友銀行へ年間約 5,200MWh（一般家庭の約 1,700 世帯分）の電力を供給することで、年間約 2,300t の温室効果ガス（Greenhouse Gas/GHG）排出削減を目指すものです。

また、再生可能エネルギー創出に向けた新たな設備投資を促す効果が見込まれる「追加性」※2 のある取組として、サステナビリティ実現に貢献できるものと考えております。

なお、今回のオフサイトコーポレート PPA はメガバンク最大規模となります。



既に 4 本部ビル（本店、東館、大阪本店、神戸本部）で使用するすべての電力を再生可能エネルギーに変更しましたが、本年 3 月に公表したオンサイトの「SMBC 川崎メガソーラープレイス」※3（総出力 1,037kW）に加え、今回の「オフサイトコーポレート PPA」を新たに導入することで、メガバンク最大規模となる総出力 5,937kW の太陽光発電を活用した取組を推進してまいります。

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）では、サステナビリティに関する中長期計画である「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」の施策の一つとして、SMBC グループ自身が排出する GHG 排出量に関して「2030 年ネットゼロ」とする計画を 2020 年 4 月に公表し、実現に向けた取組を進めております。

また、昨年 7 月に“SMBC Group GREEN Innovator”のコンセプトを公表し、サステナビリティ実現に向けたサービス開発や取組を進めております。今回の「オフサイトコーポレート PPA」も、こうした取組の一環として運用してまいります。

SMBC グループはグループ全体で気候変動問題に取り組み、脱炭素社会への移行と実現のため、積極的にサステナビリティ実現に貢献してまいります。

- ※1 遠隔地の発電設備から送配電網を介して送電し、需要家が発電事業者から長期間環境価値を調達する契約。近年欧米でも導入が進んでいます。
- ※2 太陽光発電所の新設など、新たな再生可能エネルギー電源開発により、日本の再生可能エネルギー発電総量増加に直接寄与することを意味します。近年、価値が高い再生可能エネルギー由来の電気や環境価値の要件として、欧米環境先進企業のグリーン電力採用基準に活用されています。
- ※3 「SMBC 川崎メガソーラープレイス」については、以下のリンクをご参照ください。  
[https://www.smbc.co.jp/news/j602553\\_01.html](https://www.smbc.co.jp/news/j602553_01.html)

以 上